



日本一カッコいい介護福祉士
杉本浩司さんに突撃インタビュー!

杉本さんが
回指す

日本一カッコいい介護福祉士 介護の未来とは



インターネットの検索エンジンに「カッコいい 日本一 介護」と入力すると、上位に「日本一カッコいい介護福祉士」として杉本浩司さんが表示されます。そう、杉本さんは、いま日本で最も注目されている介護福祉士の一人。介護職員として経験を積み、34歳の若さで介護施設の施設長に就任。現在は、休日返上で全国各地を飛び回り「自立支援介護」について講演も行っていきます。そんな杉本さんに、介護の仕事の魅力や将来性についてお話を伺いました。

閉ざされた保育士への門、 それが大きな転機に

高校の頃の夢はモデルになること。大学に通いながらモデルの仕事もするってカッコいいと思っていたのが理由です。そして、大学で専攻したかったのは考古学。遺跡に興味があったんです。

そんな自分がなぜ介護の道に進んだのか。実は、いつも勉強していた高校の図書室がある日閉まっていた、なんとなく進路相談室に寄ったんです。そこでたまたま保育士の専門学校の資料が目にとまり、子どもの頃の夢が保育士だったことを思い出します。その瞬間に進路変更！ただ、意気揚々と挑んだ保育士の専門学校の入試は不合格…ピアノが弾けなかったことが要因だったようです。

不合格通知を受け取った後、諦めずに再び進路相談室へ。そこで、次は介護福祉科を併設している保育士の専門学校を見つ

けました。なるほど、人のお世話をするという点から考えると対象が子どもか高齢者が違うだけ。そういう考えにいきついで、介護福祉士養成校へ進むことにしました。これが自分にとってのいちばん大きな転機だった気がします。

自分だからこそできる 介護の道を切り拓こう！

介護の学校に入学したんですが、実は高齢者が苦手だったんです。ただ、子どもの頃から「苦手克服」がモットー。背が低くていじめられた経験もあって、この道だけでなく何でも挑戦して一番になって見返してやろうと考えていました。

専門学校に入学した頃には背も伸びて、ヘアスタイルや服装が個性的すぎて学校では浮いた存在でした。入学初日に先生から「キミ、向いてないよ」って言われたほど。でもそう言われるとやる気がわいてきました。講義の授業より実践重視。施設での実習で高齢者の方々の行動を観察していると見えてくるものがあって、自分ならこうするかななど自分流のノウハウを見つけるのが楽しくなっていったんです。

卒業後は現在勤めている社会福祉法人の関連施設に就職。そして、次の転機が訪れます。この頃にはモデルの仕事もして、とあるパーティーに招待されました。そこで初対面の女性に「あなたモデルでは一番とれないよ、普通だから」と言われたんです。いきなり失礼な人だなと思ったんですが、正直言い当てられていて何も言い返せないままでした。するとその



日本という国を介護から変えていく！ 介護の仕事は限りなくクリエイティブ だからこそできると信じています



後、「あなたなら高齢者にスポットライトを当ててあげられるのでは」とも言われて、その言葉がきっかけでモデルの仕事は辞めて、自分だからできる介護の道を切り拓いていこうと決めました。

ビジョンがあれば、 クリエイターになれる

高齢者の方と接していてわかったのは、この方たちは元の生活に戻りたいんだということ。そこで、介護職員として働きながら大学院に通って自立支援について学びました。介護といえはお世話をするイメージが強いですが「自立」を支援することができます。一人で食事ができなかった人ができるようになったり、歩けなかった人が歩けるようになることもあります。介護の可能性に気付いて以来、この仕事が楽しい、クリエイティブだなと思いました。

その頃から自分の働く施設でいろんな試みを始めました。例えば、徘徊をする認知症の高齢者をスタッフつきっきりで散歩に連れて出かけるんです。雨の日も雪の日も毎日毎日。すると、やがてその方たちは徘徊しなくなりました。そんな試みの成果が他の施設へも少しずつ広まっていった頃、介護福祉士上級資格の認定介護士の人物モデルに約140万人の中から選ばれ、全国から講演依頼が来るようになったんです。

どんなこともビジョンがないと何もかなえられない。逆に

ビジョンがあればクリエイターになれます。いまの目標は、世界ナンバーワンといえる日本の介護技術の高さを世界中の人に知ってもらい、介護から日本を変えること。そのためにも自分と同じビジョンを持った人を増やし、超高齢社会となる2025年までに、その人たちと共に介護の仕事がいかにか“クリエイティブ”かを全国の若い人たちに伝えたい。そんな熱い思いを持っていま精力的に活動しています。



お世話をするのではなく
普通の生活ができるように
手助けすること
それが介護の仕事なんだよ！



Profile

1977年生まれ。社会福祉法人ウエルガーデンの特別養護老人ホームケアワーカー、訪問介護管理者、通所介護管理者、介護支援専門員、地域包括支援センター長を歴任し、現職に。全国各地で年間約50回の講演を行うなど、施設アドバイザーとしても活躍。

ウエルガーデン伊興園
施設長 杉本 浩司さん



キミらしい介護福祉の仕事を見つけよう!

FIND A JOB

超高齢社会が進む日本において、今後、ますます介護福祉サービスの需要は高まっています。つまり、もっともっと介護を専門とする人たちの力が必要となります。介護の未来を担うのはキミたち。さて、どんな仕事に興味があるかな。

毎日の生活に不安を抱えている人をサポートしたい!

介護

介護福祉士 介護職員(ケアスタッフ) 訪問介護員(ホームヘルパー) など

介護福祉士は、国家資格を取得し専門的な知識や技術のもと介護を行います。ケアスタッフは高齢者や障がい者の入浴、排泄をはじめとする自立支援、散歩や買い物など生活全般の援助、各施設のレクリエーションの企画・実施を担当。ホームヘルパーは介護が必要な在宅高齢者や障がい者宅を訪問し、介護サービスや生活援助サービスを提供。利用者本人や家族への精神的ケアも大切な仕事です。



支援が必要な人相談したい人をサポートしたい!

相談・援助・調整

生活相談員・生活支援員 介護支援専門員(ケアマネジャー) 社会福祉士 など

生活相談員は、高齢者福祉施設などで相談援助や入退所の手続き、サービス計画立案などが主な仕事。介護支援専門員や社会福祉士は、専門的な知識や技術のもと相談援助を行います。支援が必要な人たちから相談を受けると、サービスを査定してケアプランを作成。ご家族やサービス事業者の仲介をしながら福祉サービスを調整していきます。



障がいのある人をリハビリでサポートしたい!

リハビリテーション

理学療法士 作業療法士 音楽療法士 など

理学療法士・作業療法士は、リハビリが必要な人や身体機能に障がいを持つ人に対して、最新の技術と理論のもと運動療法やマッサージ、機能回復訓練などを行って自立支援をサポートします。音楽療法士は、対象者の状況に合わせた音楽的プログラムを組み、音楽を聴いたり歌を歌ったり、音楽の持つ力を生かしたリハビリテーションを行います。



看護や保健の専門家として健康の面からサポートしたい!

医療・保健

看護師 保健師 など

看護師は、看護師資格、准看護師資格保有者が、医師の指示による医療処置のほか、病状や療養生活を看護の専門家目で見守り、適切な判断に基づいたケアとアドバイスを行います。保健師は、健康関連の相談・指導などを行う健康管理の専門家。利用者が安心して健やかに過ごせるよう施設全体の衛生管理、感染症対策も大切な仕事です。



介護福祉施設には、他にもこんな職種やサービスがあるよ!



利用者さんの健康や疾病状態に合わせて献立を考える栄養士さん、献立どおりに料理をする調理員さん、各施設を管理する施設長や事務職を担当する人もいます。また、施設の利用には訪問介護員がご自宅に伺う在宅系サービスの他、デイサービスのような通所系サービス、特別養護老人ホームのような入居系サービスがあります。

★介護職員★

人と接することで自分も笑顔に

毎日のように誰かに「ありがとう」と感謝の言葉をいただける素敵な仕事です。



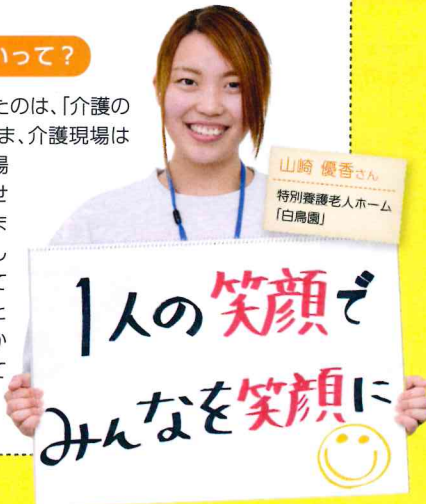
いつも心がけていることって？

以前、私のお声がけが至らず利用者さんを怒らせてしまったことがあったんです。その時は原因がわからなかったのですが、とにかく誠意を持って謝罪したんです。すると、許していただけただけでなく信頼関係を築くこともできました。以来、相手の気持ちになって考えて行動・発言するよう心がけています。



この仕事のやりがいって？

自分自身が働いてみて実感したのは、「介護の仕事って楽しい！」でした。いま、介護現場は人材不足です。女性が多い職場なので結婚や出産を機に退職せざるを得ない立場の方もいます。だからこそ、この仕事の楽しさややりがいを知ってもらって介護職を目指す人が増えるといいなと思います。自分が誰かの人生に少しでも関われるってすごくないですか？



★介護支援専門員★

やってみたいと思ったらまず挑戦

高校時代のボランティアがきっかけ。視野が広がり、どんどん意欲がわいてきます。



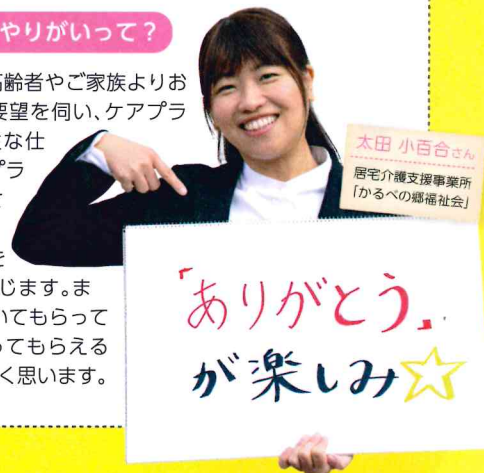
この仕事に就いたきっかけって？

高校時代、先生の誘いで学童保育と障がい児のサマースクールのボランティアに参加し、福祉の仕事の楽しさを知ったことがきっかけです。中学時代は部活に夢中で将来のことなんて何も考えていなかったんですが、何が動機で将来の仕事に繋がるものが見つかるか分からないですね。



この仕事のやりがいって？

介護支援専門員は、高齢者やご家族よりお困りごとや不安、ご要望を伺い、ケアプランを作成するのが主な仕事です。ご提案したプランによって利用者さんやご家族の生活が改善されていくのを知るとやりがいを感じます。また、訪問先で「話を聞いてもらってすっきりした」と言ってもらえることも、すごくうれしく思います。



先輩からのメッセージ

県内の高齢者福祉施設で働く先輩たちに、仕事の内容や介護職に就いたきっかけ、やりがいや楽しさについて話を聞きました！

I ♥ MY JOB

★生活相談員★

音楽療法の実習がきっかけ

高齢者やご家族のその日一日の生活を大切に考えながら仕事をしています。



この仕事に就いたきっかけって？

祖父や祖母が大好きで、当時から高齢者の方々の役に立てる仕事に就こうと思っていました。生活相談員は、施設で暮らす高齢者やそのご家族から生活上のご要望やケアについての相談を受け、支援するのが主な仕事です。また、相談業務の他に音楽療法の仕事もしています。中学生の頃にギターと出会い、大学で音楽療法の実習を経験したことがきっかけです。



この仕事のやりがいって？

この仕事はとてもクリエイティブで、こんなケアがしたいと愛の心を持って実行すればその方向に進むことができます。音楽療法の場面では、はじめ元気のなかった人が笑ったり一緒に歌ってくれるようになり、笑顔で「ありがとう」と言ってくれた時は何ごとにも代えがたい喜びを感じます！



★看護師★

人の人生に寄り添え、学びも多い

将来の仕事の選択肢の一つとして介護の仕事を加えてもらえればと思います。



この仕事に就いたきっかけって？

中学生時代、部活でケガをした時によく看護師さんにお世話になり、その頃からこの仕事を目指していました。看護学校卒業後は病院に勤務していましたが、祖母が認知症を発症したことを機に、祖母が通う施設の看護師職に就きました。自分で判断しなくてはならないことが多く重責を感じますが、多くの方の笑顔を見ると頑張ろうと思えます。



いつも心がけていることって？

利用者さんにとって施設は、病気を治しに来る場ではなくあくまでも生活の場。だからこそ、ゆったりと過ごし、ただいただくことを第一に接するよう心がけています。ここでは看護師以外の仕事も体験でき、しかも、人生経験豊富な方の話を聞いているんなことが学べます。将来の仕事の選択肢にこの仕事を加えてもらいたいと心から思います。



もっと
知りたい!

高齢者福祉のこと

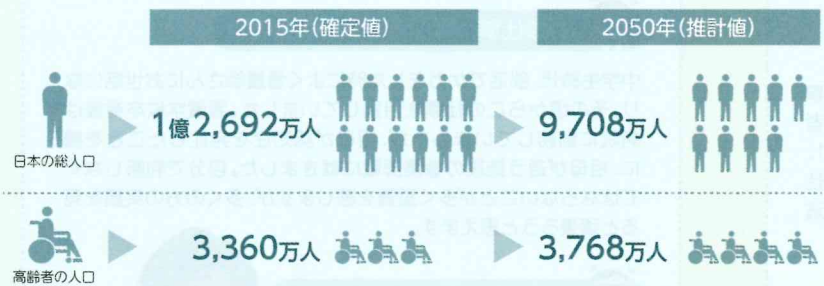
「虹の7K」って知っていますか?



介護業界は成長産業

活躍の場はますます広がっていきます!

日本は、世界最速で最高齢の国になりました。そんな時代にあるいま、介護はとても身近な問題となっています。それと同時に、近年介護に関する仕事は多様化し、将来的に長く需要が見込める成長産業と注目されています。介護の仕事は、国の施策のもと安定して事業が運営でき、社会的意義の大きい仕事です。今後、国家資格である介護福祉士は、介護の専門家として活躍の場はますます広がり、多くの人から頼りにされる仕事になっていくと思われます。



資料出所：2015年は総務省「人口推計統計データ」、2050年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 平成24年1月推計の出生中位・死亡中位過程による推計結果」

★資格について

介護の仕事は、専門の学校で学んで卒業していることが必須であったり、国家資格が必要な専門職もありますが、必ずしも資格が必要とも限りません。ケアスタッフの多くは、先輩たちのサポートを受けながら仕事を覚えていきます。そして、働きながら養成講座や試験を受けて資格を取得すれば、さらに仕事の幅を広げていくことができます。

福祉に関する国家資格例

介護福祉士、社会福祉士、看護師、保育士、理学療法士、作業療法士、精神保健福祉士 など

★介護サービスの種類について

介護サービスには、自宅で暮らしながら生活支援を受ける「在宅系」、自宅で暮らしながら日帰りして施設に通って入浴などのサービスを受ける「通所系」(デイサービス)、施設で暮らしながら介助サービスを受ける「入居系」があります。

在宅系サービス

内容

- ・食事や入浴介助
- ・買い物や洗濯、掃除などの生活支援
- ・機能訓練(リハビリ)
- ・健康管理や医療処置 など

通所系サービス

内容

- ・食事や入浴支援
- ・機能訓練(リハビリ)
- ・レクリエーション など

入居系サービス

内容

- ・食事や入浴、排泄の介助
- ・理美容などの提供
- ・洗濯やリネン交換 など
- ・機能訓練や各種療法
- ・レクリエーション など

とにかく
チャレンジ!



トライやる・ウィークで 体験しよう!



社会ってどんなところ? 働くってどういうこと?

中学2年生、そろそろ将来のことが気になり始める時期です。兵庫県では、そんな県内の中学2年生を対象に、「トライやる・ウィーク」を実施しています。

高齢者福祉の仕事についても、特別養護老人ホームやデイサービスなどの高齢者施設で毎年たくさんの中学生を受け入れています。高齢者のお世話というと、お手伝いをするイメージがあるかもしれませんが、でも、体験を終えた学生たちは、「ありがとうっていわれて逆に元気がもらえた」「笑顔がうれしかった」「知らない話をたくさんしてもらえた」と、口をそろえて「体験してよかった」と話しています。

人の役に立ちたいと真剣に考えるきっかけになったり、やりがいを感じたり、自分なりの心の変化を実感するチャンスにもなります。

トライやる・ウィークは基本的に1週間。長いようで体験してみるとあっという間。

ぜひこの機会に、いろんなことをたっぷり吸収しよう。



トライやる・ウィーク1日のスケジュール

時間が経つのはあっという間。ちゃんと相手をよく見て、自分たちができることを考えながらする仕事はやりがいたっぷりだよ。

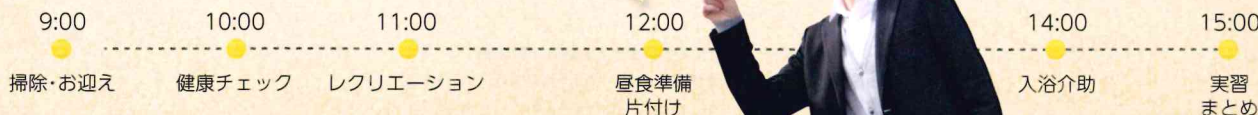
特別養護老人ホーム



車椅子を急に動かすと危ないのでひと声かけて

バレーボールをすると笑顔いっぱい♪
すごく上手!

デイサービス



声のかけかたひとつで食べる量が変わるんだ!





人の役に立ちたい！そんなキミが輝く場所へ！
ひょうごの高齢者施設をたずねてみよう！

施設見学、トライやる・ウィーク、イベント開催など
老人福祉施設の活用について
お気軽にお問い合わせください。



一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター内 TEL.078-291-6822

兵庫県老人福祉事業協会とは

兵庫県内(神戸市除く)の老人福祉事業所が加入する団体です。自己評価により施設サービスの質の向上を目的とする「サービス評価事業」を取り入れるなど、会員が切磋琢磨して介護の質の向上をめざしています。



著作 一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会

*本書の収録内容の無断転載・複写・引用等は禁じられています

hyogo-kenroukyo.jp